

# 同窓会報



発行 〒 992-0039 山形県米沢市門東町1丁目1番72号 九里学園同窓会 事務局 TEL0238-22-0091 FAX0238-22-0092



学校登山 6月

来年こそ会いましょう

同窓会長 鈴木 京子

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より同窓会の活動につきまして、会員の皆様から多大なご協力とご支援を頂いておりますことを心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大にともない、昨年に引き続き同窓生の集いも開催できない状況ではあります。コロナ禍の中、仲間意識や連帯感を育むことができるような交流の「場」づくりの必要性を改めて感じさせられました。同窓会の活動を止めてはいけなさと試行錯誤を重ね、新たに迎えた役員と力を合わせ、アイデアを出し合いながら前向きに事業に取り組んでいきたいと考えております。

さて、本校は母校創立百二十周年という記念の年でもあります。九里学園の伝統を受け継ぐ卒業生として、在校生への応援とお手本になれるよう、同窓生の絆を深めていきたいと思っております。

来年こそは、年代を超えた良きご縁に恵まれますよう、同窓生の集いができることを祈るばかりです。そして、平穏な暮らしが一日も早く戻り、皆様に笑顔でお会いできることを切に願うとともに、皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。今後も同窓会へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

QRコードで九里学園の情報を見ることができます。



同窓会



九里学園HP



インスタグラム



ツイッター



フェイスブック



## 九月十三日は 『創立百二十周年』の祝いの日

学校長 九里 廣志

本校の長寿祝いは、創立を祝う毎年の周年事業で、また十年毎に、そして『米寿(八十八周年)』や『百寿(百周年)』などの節々に盛大に祝ってきました。今年は二度目の還暦を祝う『大還暦(百二十周年)』の年です。このお祝いを過ぎると、次の長寿のお祝いは無いのです。であるなら、これ以上は無いと言う程の大々的なお祝いをするのですが、何せ世の中は新型コロナウイルス・COVID-19による大流行の真っ最中。致し方なく今回はささやかに内輪で式典を行うことといたしました。でも、この機を逃がしては先に進ま

ないものもあります。そこで、「学園の歴史を確実に後に伝えたい」と『創立者・九里とみ』についての展示や、残された資料などの整理・展示を行うことにいたしました。卒業生の船山弘子さん(昭和五十二年卒)のご厚意で、「九里学園新聞」をデジタル化保存していただきました。また、元副校長の笹原裕一先生が、資料等を丹念に整理してくださいました。それを展示する『資料室』を木造校舎に整備しました。どうぞ暇を見つけておいでください。お待ちしております。

## お世話になりました

学園の研究所専従 笹原 裕一

米沢女子高校での教員人生の始まりは昭和五十四年です。初めての担任は一年生でしたが、生徒に迷惑をかけたばなしの一年間でした。長瀬正文先生の後を継いでフェンシング部の顧問として生徒と共に汗を流し、インターハイや特に島根国体に米沢女子高校として単独で出場したことなど、部員にはたくさんのお出をいただきました。社会科の遠藤若根先生、斎藤清一先生、豊嶋春雄先生、平賀秋夫先生、そして福崎正史先生には困ったやつだと思われながらも広い心で受け止めていただいたことに感謝しております。男子一期生の担任として富樫先生と共に入学早々生徒を引き連れてハワイ

の高校での研修や創立百周年の行事、学校五日制に伴う生涯学習の土曜講座の実施等々思い出は尽きません。そして酒井脩一先生の後を継いでの教頭職、その後の副校長として多くの生徒や同窓生のみなさん、先輩後輩の先生方に助けられ、九里茂三先生、加藤和夫先生、九里廣志先生と三代の校長先生のご指導を受けての四十二年間でした。本当にありがとうございました。

現在は教育研究所専従として資料の整理を続けている所です。同窓生の皆様、断捨離の折には九里学園の冊子や思い出の品など捨てずにご寄贈いただければ幸いです。



### 新役員紹介

会長	鈴木 京子 (S58)
副会長	海老原いく子 (S58)
	渡部 幸太 (H14)
	竹田 悠真 (H26)
(東京)	斎藤 雄大 (H14)
(教頭)	鈴木 精
幹事	大久保洋子 (S42)
	町田 悦子 (S45)
	斎藤久美子 (S49)
	斎藤 妙子 (S49)
	高橋 有子 (S52)
	高木 恵子 (S58)
	遠藤 正恵 (S59)
	戸田 紀子 (S59)
	吉田貴美子 (S60)
	吉野美紀子 (S63)
	伊藤 礼子 (H9)
	若林あい子 (H12)
	鈴木 豊 (H18)
	後藤 璃帆 (H22)
監査	鈴木 里佳 (S60)
	佐久間綾子 (S57)



### 夢を語れる大人に

新副会長 海老原いく子

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度の役員改選において、前副会長鎌水様に代わり大役を務めさせて頂くこととなりました。昭和五十八年卒、海老原いく子と申します。

高校の三年間はスキー部(クロカン)に所属。当時の顧問、遠藤武宏先生、落合重忠先生、担任の本田米子先生のもと、部活、食い気、部活、食い気、時々勉強：笑いあり、時には喧嘩もありの自由で創造豊かな日々。先輩や後輩たちと過ごし、生涯の友を得、夢を見つけ、輝き溢れる三年間を過ごしました。九里校長先生をはじめ周りの沢山の大人に見守られ、愛され、育てて頂いたのだと、今となっては気づき感謝の気持ちでいっぱいです。



また、米沢からオリピック選手を育てたいという願いを実現するために、二〇〇一年に米沢Jr.クロスカント



リースキークラブを立ち上げました。スキー仲間や高校時代の仲間と共に、発足二十周年を迎えますが、地元でスキーを続けたい選手が九里学園にお世話に

なり、インターハイ、国体で入賞。全日本強化メンバーに入る選手にもなっています。このような活躍が叶ったのもこの学園の校風があったからです。私学の素晴らしさを、年月を経てなお実感することができました。

子どもたちは未来です。コロナ禍の苦しい日々が続いておりますが、どんな状況でも夢を語れる大人でありたい。今いる子どもたちの健やかな成長を願い、微力ではありますが皆様と共に歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしく願っています。

### 生徒達と学び合う日々

伊藤 礼子

こんにちは。平成九年卒業の伊藤礼子と申します。私は現在、国語科の講師として二十数年ぶりに九里に通っています。懐かしさと、時代に添った新しい取り組み



みに刺激をいただきながら日々を過ごしています。九里にお勤めする前は、日本語教師と

して国内外で仕事をしました。外国の方に日本語を教えることに興味を持ったのは九里在学中の海外研修がきっかけで、日本を見直す視点を経験したことはとても大きかったと思います。また並行して、グリーンフサポート(大切な人を亡くした方のサポート)の仕事にも携わっています。大切な人との別れは誰もが経験することですが、その際現れる心身への様々な影響について知る機会は案外少なく、その辛さが少しでも抱え易くなるようにと活動しています。明るい挨拶を忘れない九里の生徒達、高校生活というかけがえのない(今)を生きる生徒達に私も学びながら、これからも日々、ともに成長していけたらと思います。



から、これからも成長していけたらと思います。

### 「礼」と「讓」の心

大野沢伸恵



米沢女子高等学校に入学し、三年生の時に男女共学となり、九里学園第一期生として卒業してから二十年

が経ちました。当時を振り返ると、楽しい思い出がたくさんあります。先生方やたくさんの方と出会うことができたことは私の人生の財産になっています。また、九里学園で学んだ「礼」と「讓」の精神は、今でも私の中で大切にしている言葉です。

勉学に励む中で、子どもたちに関わることができる仕事があったらという夢を叶えたいと強く思うようになりました。高校卒業後は短大に進学し、小さい頃からの夢だった保育士になることができ、今は地元の保育園で勤務しています。

これからも、自分の仕事に誇りを持ちながら、未来ある子どもたちの成長を見守り、「礼」と「讓」の心でたくさんの方と関わっていききたいと思えます。





## 令和3年度一般会計収支予算書

〈収入の部〉

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰越金	502,151	599,773	△97,622	
入会金	136,000	138,000	△2,000	R2年度卒業生 136名×1,000円
終身会費	680,000	690,000	△10,000	R2年度卒業生 136名×5,000円
事業収入	0	0	0	
雑収入	349	227	122	銀行利子等
基本金繰り入れ金	0	0	0	
合計	1,318,500	1,428,000	△109,500	

(△:減収)

〈支出の部〉

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
運営費	435,000	325,000	△110,000	
事務費	55,000	55,000	0	事務用品、封筒、紙
通信費	50,000	50,000	0	ハガキ、切手、郵送料など
旅費	10,000	10,000	0	
会議費	30,000	30,000	0	役員会、準備委員会等のお茶、お菓子代
人件費	240,000	130,000	△110,000	
慶弔費	30,000	30,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	
事業費	883,500	1,103,000	219,500	
総会経費	100,000	100,000	0	チラシ、謝礼、懇親会諸経費
会報発行費	450,000	500,000	50,000	会報印刷、送料
音楽会案内経費	0	0	0	
支部活動補助	30,000	50,000	20,000	
九里祭参加	0	0	0	
ホームページ管理費	13,500	13,000	△500	サーバ及びシステム使用料、ID管理料
基本金繰り入れ金	250,000	400,000	150,000	
予備費	40,000	40,000	0	
合計	1,318,500	1,428,000	109,500	

(△:超過)

## 令和3年度基本金収支予算書

項目	収入額	支出額	備考
繰越金	9,150,000		
一般会計から繰り入れ	250,000		
次年度への繰越金		9,400,000	
合計	9,400,000	9,400,000	

## 101年前のマスク(口覆い)不足を救った九里学園

創立120年の歴史の中で、九里学園は社会の大波をかぶりながらも現在に至っています。その中で、現コロナ禍と重なることがありました。ちょうど101年前の日本はスペイン風邪の大流行でマスク不足になり、米沢市の要請により「九里とみ校長が全生徒にマスクを作らせ、マスクが高騰するなか実費で市民に販売。市ではこのマスクを見本にして小学生にも作らせた。」というのです。

(大正9年1月21日 米沢新聞より)

## 令和2年度一般会計収支決算書

〈収入の部〉

項目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	599,773	599,773	0	
入会金	138,000	138,000	0	R元年度卒業生138名×1,000円
終身会費	690,000	690,000	0	R元年度卒業生138名×5,000円
事業収入	0	0	0	
雑収入	227	5,412	5,185	銀行利子
基本金から繰り入れ	0	0	0	
合計	1,428,000	1,433,185	5,185	

(△:減収)

〈支出の部〉

項目	予算額	決算額	増減	備考
運営費	325,000	109,808	215,192	
事務費	55,000	58,804	△3,804	封筒(長3)、のり、カードリッジ等
通信費	50,000	0	50,000	
旅費	10,000	0	10,000	
会議費	30,000	4,504	25,496	
人件費	130,000	0	130,000	
慶弔費	30,000	40,000	△10,000	香典(2×5,000) 退職記念品代(2×15,000)
雑費	20,000	6,500	13,500	毎日新聞 広告掲載 同窓会入会式の花代
事業費	1,103,000	821,226	281,774	
総会経費	100,000	0	100,000	
会報発行費	500,000	407,828	92,172	印刷費166,760円(No63 3,200枚) 郵送料等241,068円
音楽会案内経費	0	0	0	3年に1回 2020年音楽会開催予定中止
支部活動補助	50,000	0	50,000	
九里祭参加	0	0	0	
ホームページ管理費	13,000	13,398	△398	サーバ及びシステム使用料 11,220円 ID管理料2,178円
基本金繰り入れ金	400,000	400,000	0	
予備費	40,000	0	40,000	
合計	1,428,000	931,034	496,966	

(△:超過)

差引残高 実収入(1,433,185円) - 実支出(931,034円) = 502,151円を次年度へ繰り越す

〈監査報告〉

一般会計収支決算書に基づき、関係諸帳簿を監査したところ、きわめて正確に処理されていたことをご報告いたします。

令和3年5月21日

監事 佐久間綾子

監事 鈴木 里佳

なお、原本では自筆署名・印をいただいております。

## 令和2年度基本金収支明細書

項目	収入額	支出額	備考
繰越金	8,750,000		
一般会計から繰り入れ	400,000		
次年度への繰越金		9,150,000	
合計	9,150,000	9,150,000	

〈監査報告〉

基本金収支明細書に基づき、関係諸帳簿を監査したところ、きわめて正確に処理されていたことをご報告いたします。

令和3年5月21日

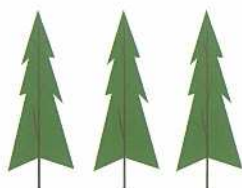
監事 佐久間綾子

監事 鈴木 里佳



## 令和3年度事業計画

5月29日(土)	三役会	会議室
	理事会に関する審議	
5月29日(土)	理事会	
	役員会に関する審議その他	会議室
6月26日(土)	役員会	教育センターホール
9月	会報発送「同窓会報64号」	
11月～3月	会報編集委員会	
令和4年		
2月 日	同窓会入会式 令和3年度 卒業生	
3月 日	会計監査	



## 令和2年度事業報告

4月 日	三役会	会議室	中止
	役員会に関する審議		
4月 日	役員会	会議室	中止
	総会に関する審議、その他		
5月 日	総会準備委員会	会議室	中止
5月	会報発送「同窓会報63号」		
6月27日(土)	同窓会総会		中止
	<場 所> 城史苑		
	<時 間>	午後5:30～8:30	
	<内 容> 総 会	午後5:30～6:00	
	懇親会	午後6:00～8:30	
	<会 費> 5,000円 (H31年、R2年卒は3,500円)		
11月～3月	会報編集委員会		
令和3年			
2月26日(金)	同窓会入会式		
	新会員136名	教育センターホール	
5月21日(金)	会計監査	応接室	

## 同窓会会則改訂について説明します

今回の会則改訂は、大きな災害（例えばコロナ禍）などが起きた時、活動は制限されても停滞することなく進めるようにという考えで改訂しました。

## 九里学園 同窓会会則

### 第1条(名 称)

本会は九里学園同窓会と称し、本部を九里学園高等学校内におく。

### 第2条(目 的)

本会は母校の発展に協力し、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### 第3条(事 業)

本会は前条の目的達成のため、下の事業を行う。

- 1 母校後援に関する事業
- 2 会員の相互の親睦に関する事業
- 3 会員の研修
- 4 会報の発行
- 5 会員名簿の管理
- 6 その他本会目的達成に必要な事項

### 第4条(会 員)

本会は九里学園の卒業生(会員)と学園現職員(客員)を以て組織する。

### 第5条(役 員)

役員は、理事と一般役員で構成される。

役員は、学年、クラス、地区の代表者、および客員の推薦によって構成される。

### 第6条(役員任期)

理事の任期は2ヶ年とする。但し再任を妨げない。

一般役員の任期は設けない。

### 第7条(理 事)

本会に下の理事をおく。

- 会 長 1名
- 副会長 若干名(内1名教頭)
- 幹 事 会員と客員より若干名
- 監 事 2名
- 顧 問 本会に顧問を置くことができる。なお、会長が委嘱する。

### 第8条(会長・副会長)

会長は会務を統括する。副会長は会長を補佐し、会長事故あ

るときはその職務を代行する。

会長・副会長は会員の中から選出し、役員会で承認する。

### 第9条(幹 事)

幹事は庶務及び会計に当たる。幹事は会長が委嘱する。

### 第10条(監 事)

監事は会計監査に当たる。監事は会員の中から選出する。

### 第11条(顧 問)

顧問は特に会と密接な連携を保ち、重要会務に関して会長の諮問に応じる。

### 第12条(理 事 会)

理事会は三役が招集し役員会に提案する。

- 1 予算決算の立案
- 2 基本財源(特別会計)の運営
- 3 役員を選出
- 4 会務の報告
- 5 会則の変更

### 第13条(役員会)

役員会は、会長、副会長、幹事および一般役員でこれを構成し、予算、決算、事業計画その他必要な事項を審議決定する。

### 第14条(決 議)

決議は役員会出席者の3分の2の同意を以て決定する。

但し、災害等で活動が停止したときは、理事会の議決を経て承認する。

### 第15条(経 費)

会計期間は4月から翌年の3月31日までとする。

本会の経費は所定の入会金、会費及び寄付金を以てこれに充てる。

### 第16条(会 計)

本会の会計は通常会計と特別会計に分ける。特別会計は本会の特別事業のため基本財源として別途にこれを積み立てる。

### 第17条(支 部)

本会に各地区及び本会の目的達成のため支部をおくことができる。

### 第18条(簿 冊)

本会に下の簿冊を備える。

会計簿 会員名簿 庶務記録簿

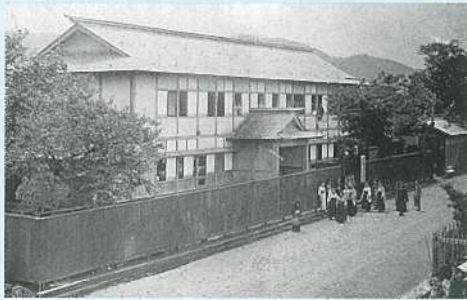


## おめでとう 母校120周年

創立者の九里とみ先生は、東京裁縫女学校(現東京家政大学)を卒業後米沢に帰り、実家で裁縫を教えているうちその技術が評判となり塾生がどんどん増えていきました。

ついに明治34年(1901)現在の米沢裁判所の所に九里裁縫女学校を設立されたのです。とみ先生30歳の時でした。開校式辞には、「家の基は女子にあり……」という高い理想を掲げ、生徒数62名、先生6名でスタートしました。

山形県では初の私立学校で、初の女性校長の誕生でした。



創立当時の校舎

## 御逝去のおしらせ

### 前同窓会長 竹田 カツさん

令和3年8月6日九里学園同窓会の会長を36年間務められた竹田カツさんが逝去されました。101歳でした。竹田さんは、創立者の九里とみ先生から直接教えを受けられた方で、とみ先生から厳しく指導されたことをよく話していただきました。世界情勢にも詳しくその好奇心が長寿の源であったと思います。「孫が借りてきた『塩狩峠』を読んで」という感想文を書いて頂いたことは忘れられません。ご冥福をお祈り申し上げます。



### 齋藤 佳子 先生

令和3年7月29日、九里学園で長く国語の先生として御指導頂きました、佳子先生が逝去されました。81歳でした。

佳子先生には、30年にわたり同窓会の出版物の校正とアドバイスをしていただきました。心から感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

コロナ禍によって、社会が大きく変化していることを強く感じます。個々の場面ではちょっとしたことに創意工夫をしながらお過ごしだったと思います。同窓会の活動も、変化に対応した適切な方向が見い出せるよう、役員一同取り組んでまいります。

いつかは今の状況が収束に向かうだろうことを願いながら、皆様お元気で過ごして下さい。

(町田)

## 社会を支える同窓生

教頭 鈴木 精先生

今年度より九里学園同窓会副会長となりました、鈴木精でございます。今、世界では「持続可能な開発目標(SDGs)」が喧伝され、人口に膾炙されています。SDGsの達成は必須のことであり、「譲」の精神を校是として掲げている本校でも、このSDGsを教育の根幹に置き、社会課題解決型探究学習に力を入れております。

さて、公私様々な場面で多くの同窓生が社会に貢献している姿に多く触れてきました。個人的にも助けてもらうことも多く、とても感謝しております。まさに「譲」の精神を身につけた多くの同窓生が、こうやって様々な場面で社会を支えているのだと実感し、非常に感慨深いものがあります。そして、このような素晴らしい人材を輩出してきた九里学園の教育の偉大さを改めて実感し、さらに発展させなくてはならないと決意しております。益々の同窓生のご活躍に期待しております。



## れんらく板

- クラス会やOB・OG会があった場合は、同窓会事務局にお知らせ下さい。
- 学園に関するもので貴重だと思われる、冊子や思い出の品などを御寄贈下さい。
- 卒業生の活躍の情報を教えて下さい。特に男子卒業生の情報をお知らせ下さい。

連絡先 九里学園同窓会事務局  
☎0238-22-0091  
同窓会 事務局 若林 まで